

2020 年度 卒業生アンケート
「東京女子大学の教育ならびに卒業生の就業状況に関する調査」
集計結果報告

2022 年 3 月

東京女子大学 自己点検・評価委員会

調査概要

目的：卒業生を対象に、本学での学修の成果や卒業後の就業状況について尋ね、今後の教育の向上や改善につなげていく。

方法：Web 調査

対象：2010年3月卒業生（卒業後10年目）及び 2017年3月卒業生（卒業後3年目） 計1,502名

調査期間：2020年12月24日（木）～2021年1月24日（日）

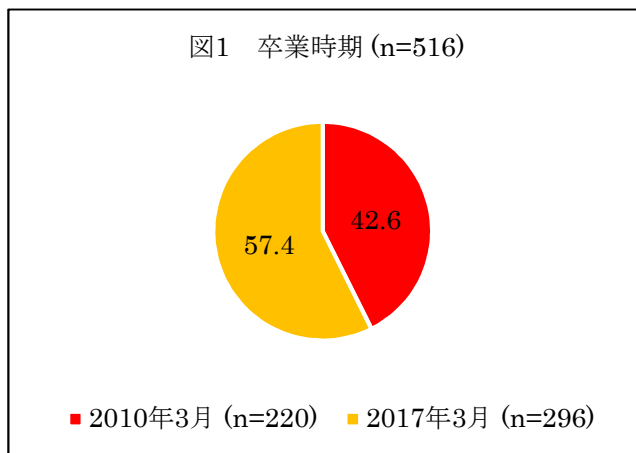
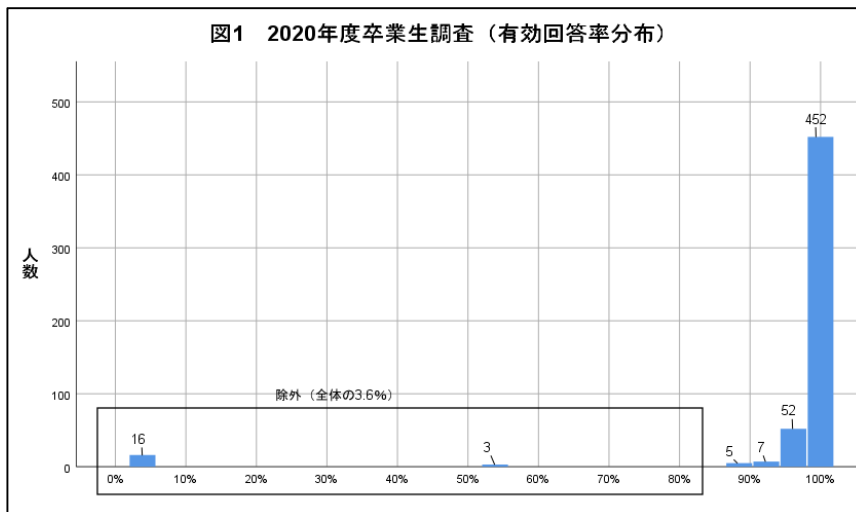
有効回答数：516名

有効回答回収率：34.6%

分析対象データ

最初に回答データから、重複回答（38名）を除外した。次に、回答率8割未満の人数を調べた所、1割に達していない場合がほとんどであったため（図1）、有効回答率が8割未満のもの（19名）を除外した。その結果、最終的な有効回答数は516名であった。

内訳 2017年3月卒296名、2010年3月卒220名



調査結果

1. 身につけることができたと思う力・スキルについて

以下のそれぞれの項目について「身につけることができたと思う力」「身につけることができたと思うスキル」について尋ねたところ、図4及び図5の結果となった。

図4では、「批判的に考えることができる」「数字やデータに基づいて物事を考えることができる」「率先してグループをまとめリードすることができる」を除く項目で、「非常にそう思う+そう思う」と回答した卒業生が6割を超えた。

図5では、「適切な日本語を用いた文章表現ができる」「物事を論理的に考えることができる」の項目で「非常にそう思う+そう思う」と回答した卒業生が6割を超えた。

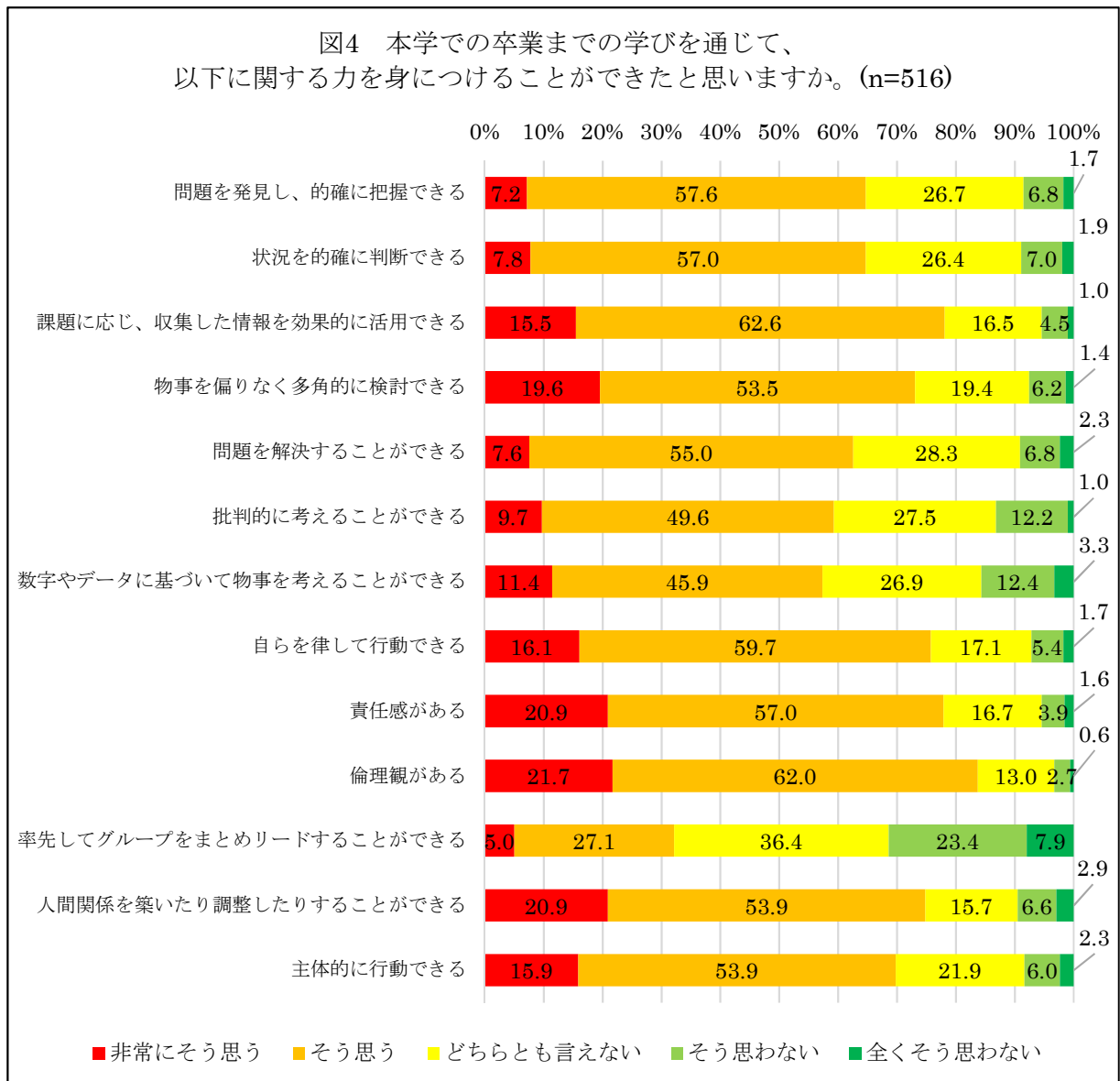
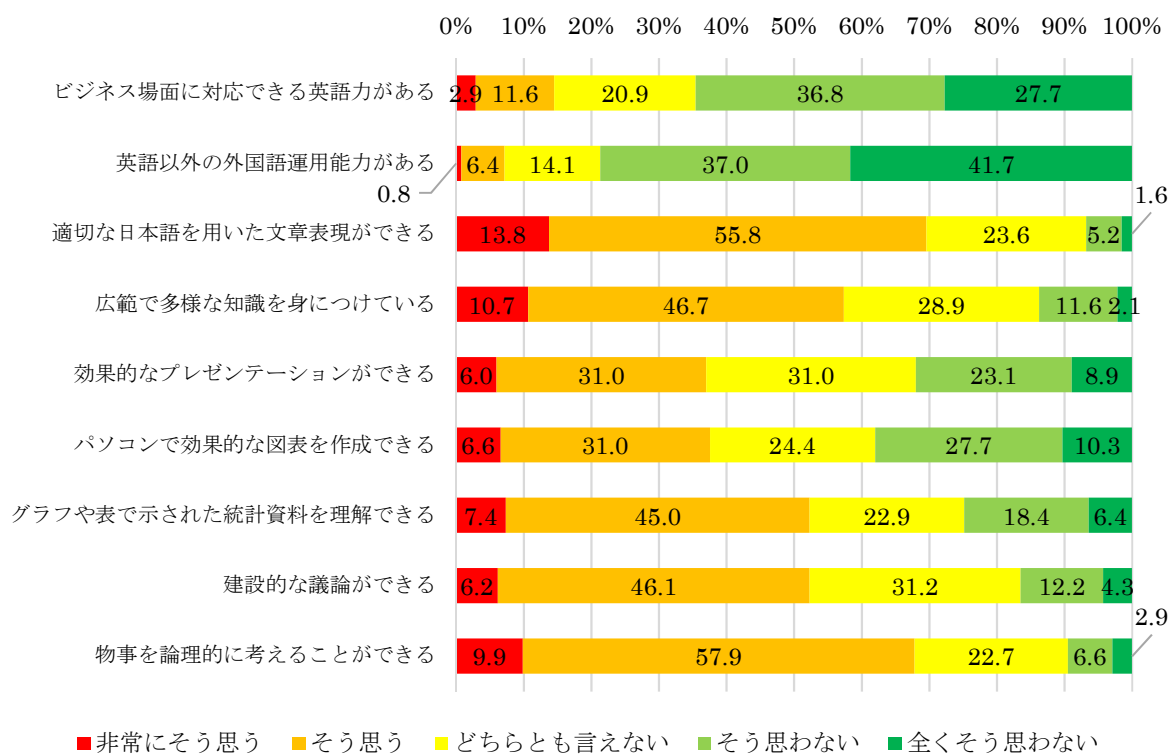
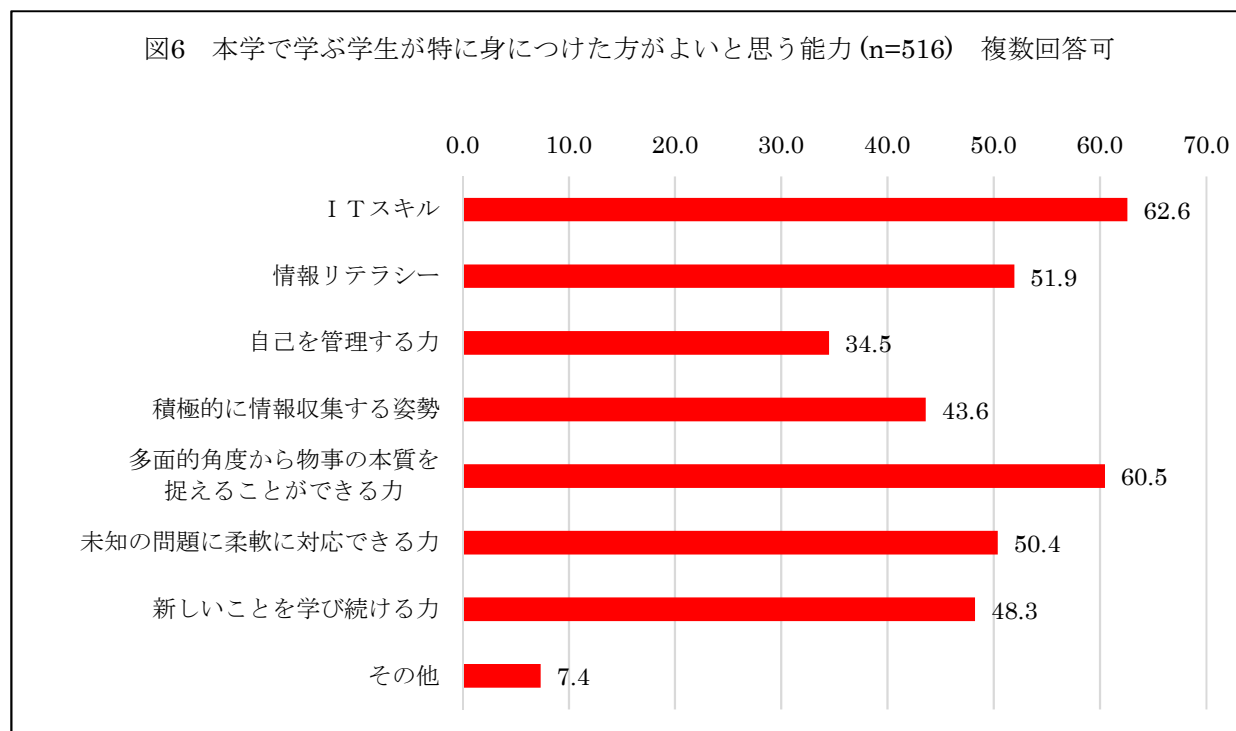


図5 本学での卒業までの学びを通じて、以下に関する力・スキルを身につけることができたと思いますか。(n=516)



2. 身につけたほうがよいと思う能力

「本学で学ぶ学生が特に身につけたほうがよいと思う能力」について、該当するものについて尋ねたところ、図6の結果となった。「ITスキル」「多角的角度から物事の本質を捉えることができる力」「情報リテラシー」「未知の問題に柔軟に対応できる力」の項目では、5割以上が身につけたほうがよいと回答した。特に「ITスキル」「情報リテラシー」については、2022年度より新設されるAI・データサイエンス教育研究センターの活動及びデータサイエンス副専攻の履修を通して強化していきたい。



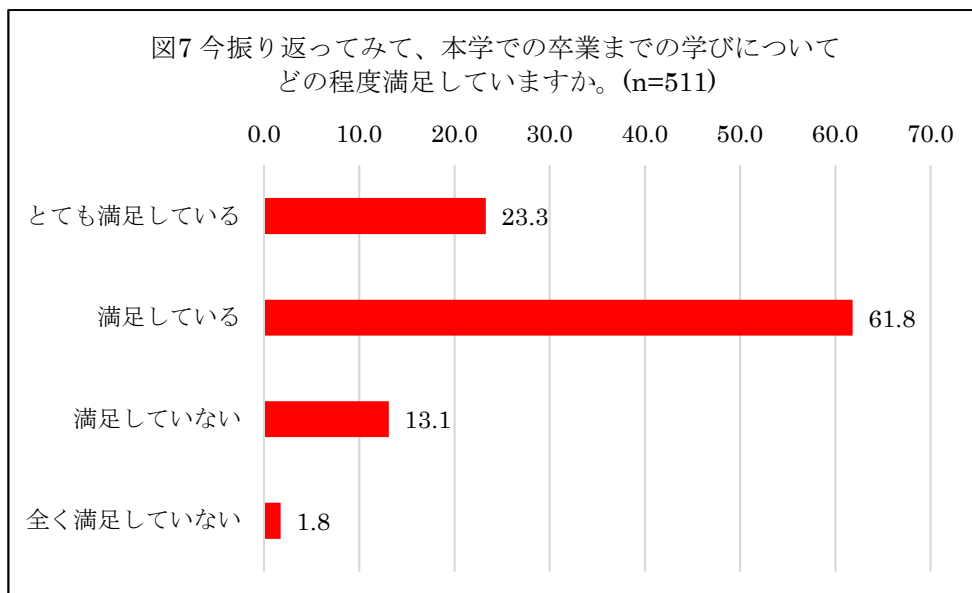
「その他」を選択した自由記述回答の一部を記載する。

クリティカルシンキング
コミュニケーション力
ジェンダーギャップのある社会に打ち勝てる正しいフェミニズムの知識
ジョブ型雇用が話題になってきている現在、なにかひとつの専門性があり、物事を論理的に考えることができ、問題解決できる力が必要になってくるのではないのでしょうか。
ディスカッションスキル
プレゼンテーションスキルや自己表現スキル
マナー
メンタルヘルスを維持する力(アサーションなど)
意見を発信する力
英語能力、ジェンダー観

英語力、プレゼンテーション能力
英語力、統計に関する基礎、データを読む力
外国語
興味・目的を持って課題に取り組む力
金融リテラシー
語学をビジネスの場で使える力、企画立案力、自立精神
語学力
語学力、プログラミング、教養、お金の知識
作業スピード、決断力、適応力
資格
自己や他者を受容/適切な判断ができる芯のあるここ、
実際に社会に出た際必要な生活能力(保険や税金について)
周囲の人から教えてもらおう、協力してもらえる力
女性の活躍の理想像と、実社会での男女の役割分担とのギャップについて。政治について(世界を含む)。経済について(世界を含む)。
正しい情報を選びとる力
相手の立場や背景を想像する力
他の大学に比べると情報リテラシーに関しては弱かった気がします。他の大学はみんな自分のパソコンを持っているのに、東女の学生は図書館で学校のパソコンを利用しないといけない子が多かったように思う。
多様なマイノリティとの共生について
変化を受け入れ自らも柔軟に変化させていく対応力
未来を読む力、今後の時代の変化に応じて必要なことを自ら考え備える力
様々な性格の人とうまくやっていく力
様々な年齢層とのコミュニケーション力
利他的に考え行動する姿勢、宗教についての知識
論理的に相手と議論する力

3. 本学での学修に対する満足度

「本学での卒業までの学びについてどの程度満足していますか。」について尋ねたところ、「とても満足している+満足している」の肯定的な回答が8割を超えた。



4. 本学の教育成果

「本学は「専門性を持つ教養人」を育成すべくリベラル・アーツ教育を行っていますが、卒業後にどのように活かされているのでしょうか。」に対する自由記述を抜粋し、記載する。

1,2年で幅広い教養、3,4年で専門的な教養を身につけられる形態は他の大学では少なく、より豊かな知識や興味の醸成に繋がったかと思います。
ある一つの事象でも、人によって解釈の仕方が異なることがあるため、様々な角度から物事を捉える努力をすることで、人間関係構築にあたり相互理解につながっている。
コミュニケーションに関する講義が、社会人になって他人とのコミュニケーションを図る際に役立っています。
データ分析について学んでいたおかげで広告代理店業において専門性のある視点や回答ができた。
ひとつの物事にたいして色々な方向から、色々な方向から理由を考えることの重要性に気がついた。
ふとした時に、この知識はリベラルアーツ教育の授業で学んだことでは無いかと感ずることがあります。リベラルアーツ教育で身につけた教養が自身の知識の一つとなって無意識に活かされていると思います。
プレゼン力やコミュニケーション能力が、職場での人間関係構築や仕事を遂行する上で役立って

いる
リベラル・アーツ教育により教養を深めたことで、様々な視点から物事を考えられるようになった。現在の仕事でも活かされており、一つのことに固執せずに自ら情報を収集しいろいろな人の意見に耳を傾けることで、周りの仲間やお客様の立場に立って物事を考えられるようになり、円滑に物事が進められている。
リベラル・アーツのマインドは自分自身の軸になっており、プラットフォームの IT 企業で働くなかで、物事を多角的かつ時に深掘りして追求することが可能となっています
リベラル・アーツ教育かは分かりませんが、多角的な視野を持つことができるようになり、決めつけた考えをせず、柔軟に様々な意見に耳を向けられる点が社会で生きていると思います。
一つのことを突き詰めれば、分野は変わっても本質は同じだということが分かります。
一般教養の土台になっているように感じます。
英語力を仕事で活かし、またその習得の仕方を継続すること
何か知りたい、学びたいと思った時に深く追求する姿勢は役立っていると思う。
何事にも興味をもち取り組める
教育の現場で、様々な生徒に対応する際に活かされてるとかんじています。
教員として勤務する中で、多国籍な生徒たちとの関わりで活かされていると思います。
教養があると、コミュニケーションが円滑に進む
教養は身についたが、授業を通してではなかったように感じます。人間関係や、ゼミでの活動を通して身についたと認識しています。
教養を持つことで、話の幅が広がり、上司、同僚、顧客との人間関係構築に非常に役立っている。
金融業界に就職しているので、大学での学びが直結して役立っているかと言われると、そこには専攻も違うのでそうとは言い切れないが、新しいことを学ぶ姿勢は活かされていると感じる
現在、地方公務員として勤務していますが、多種多様な業務に携わることがあり、そのような折、大学で身につけた語学力始め、柔軟性を持って対応できていると感じます。
現在海外で働いていますが、教育を受けてきた環境が全く違う同僚や上司とのコミュニケーションは難しいです。しかし、大学時代に学んだ幅広い知識(文学、宗教、言語、critical thinking など)によって、幅広いトピックを話すことができ、彼等と対等かつスムーズなコミュニケーションが可能になりました。
現職は心理専門職になるので、大学時代に学んだ心理学の基礎が活かしていると思います。
現代の社会は多様な価値観が尊重されるため、専門領域以外の部分の宗教、文化等の知識を身につけられたのはよかった。
好きな分野を追求し続けることで、新しい企画に繋がりました。
今まで興味がなかったことでも講義を受けて新たな興味が芽生えた。少しでも興味が芽生えたら深掘りして学ぼうという意識になった。
今接客業をしているので、お客さんとの会話の中で、自分の専攻の以外の授業で得た経験や知識を活かしている。接客相手は高齢者や年上の方が多いのでより幅広い情報が必要とされると思う。

<p>在学中に学んだ知識が様々な人と会話する際に活かされています。</p>
<p>仕事で英語を活用しています。留学経験はありませんが、通用する英語力を身につけることができました。</p>
<p>仕事や生活の場面において軸を持つことができる。例えば仕事が直接専攻に関わる分野でなくても、業務にあたりその専攻に関連した観点から物事を視ることができる。</p>
<p>仕事上で多職種と接する機会があったが、多方面での話題に対応できた</p>
<p>私は現在福祉現場で働いておりますが、大学で学んだ教養や多角的にみる力が特に活かされていると思います。おかげで、様々は背景を持つケースに対応することができております。</p>
<p>私は卒業後、専門職を目指す道に進みました。学生時代に専門科目以外の教科を広く学んだこともあり、専門外の事柄であっても、広く関心を持つことができています。</p>
<p>自分が学んだことに誇りを持ち生活出来ている。</p>
<p>自分が興味を持ったことに対して、柔軟に学び知識をつけることに活かされている</p>
<p>自分とは異なる世代や専攻の人たちと接することが苦痛ではないこと。考え方の異なる人と議論を交わせることは、東京女子大学で培うことができたと思います。</p>
<p>自分の専攻に偏った知識を身につけるのではなく、あらゆる分野学ぶことができる環境だったので、学生時代にあまり興味のない分野であっても社会に出てから知識を得ていて良かったと思える時がある。例えば、昨今企業でもCMでも言われるSDGsや資本主義経済の仕組みなど</p>
<p>自分の専攻のことだけでなく、いろんな分野を知れたのはよかった。例えば、心理学の授業で、心を開きやすい位置関係を知れたので、それを実行することができた</p>
<p>自分の分野を保ちつつ、さまざまな分野の方や、情報を取りまとめることができる。</p>
<p>自分は大学でこれを勉強した、と自信を持って言える。そこから話が広がったり、交流が生まれる。また、多角的に物事を見る力身についたので、仕事上の課題の発見や解決方法の提案が得意。</p>
<p>社会に出て様々な人と関わる際に会話の幅が広がると感じています</p>
<p>社会人となり様々な人と出会いましたが、大学時代に身につけた、異なる意見・考え方も広い視野で受け入れる力で人間関係がスムーズにきました。</p>
<p>社会人は総合力が必要だと思います。雑談力やプレゼンスキル、人を惹きつけるために、どんな人に対しても、ある程度話せる能力がリベラルアーツ教育により、身についたと思います。</p>
<p>社会問題等に対して、社会学的視点から自分の意見を考える事が出来るようになった。</p>
<p>心理学の知見をキャリアコンサルティングおよび企業研修企画・実施に活かしている。</p>
<p>世の中で「正しい」「倫理的」とされてることについて疑問を持てるようになった。</p>
<p>生命倫理についての知識を医療の現場で活かしている。その他、世界情勢を知るうえで、戦争やジェンダーに関する知識が役立っている。</p>
<p>専攻で学んだ専門的な知識だけでなく、共通科目で教養を学んだことで偏らない考え方ができていると思う。会社の同期で専門的な知識のみを学んできた人の中には常識的な知識に欠けている人が時々いるのでそう感じた。</p>
<p>専攻の学科だけでなく選択授業で学んだことも専門性があり、知識の引き出しとしてふとした時</p>

に役立っている
専門外の意外な知識が、ビジネスでの会話などで活かされる
専門的な職についている中で大学時代に学んだ教養的なところが活用できている
全体を見据えた上で、自分がどこで力を発揮するかを考えるところ。チームワーク、チームバランスをよく意識できるように感じる。
卒業後から今に至るまでに2つの仕事に就きましたが、いずれの仕事においても多様な視点から課題解決に取り組む柔軟性を持つことに繋がったと思います。
卒業直後には直結しませんでした。が、転職後の今職場では専攻で学んだ専門的な内容が生きると毎日の実務で感じます。
他学科の授業を履修できたことで得たノウハウが思わぬところで役に立った
他者より学術的な教養があると感じる。そのために様々なテーマの話題に柔軟に対応できる。また様々な考え方があることを理解しているため、物事を客観的・中立的に判断できる。
他専攻のプログラミングや言語学の授業で得た知識が仕事に役立っている。
多角的な視点で物事を考えられる点に活かされていると考えています
多角的視野で色々な選択肢を考える。
多種多様な環境に柔軟に苦なく適応できた。
大学での経験が根づいたおかげで、仕事をする上で常にプロ意識を持ち、自己研鑽を続けています。また、必要な情報を収集し、適切な情報を取捨選択することができています。
大学では所属していた専攻の学問だけではなく、必修科目を含め様々な分野の学びができた経験を経験談として周囲に話すことができた。
大学で学んだ分野とは異なる分野で仕事をしていますが、新しい分野に興味を持ち、専門性を身に付け学び続ける意欲をリベラルアーツ教育で身につけられたと思います。
大学の授業の1コマで学んだ知識が、日常生活や仕事のふとした瞬間に思い出され、生かせる時があります
東京女子大学で触れた、専門分野に偏らない幅広い教養は社会問題を身近なものとして捉える受け皿になっています。また、女子大の教育は個人個人を一般論にあてはめずに向き合うことを大切にしていたと思います。そのような環境下で学んだ経験が、他社とのコミュニケーションに繋がっています。
当時は自分に関係ないと思って受けていた授業の内容でも、社会に出ると会話の中で役に立つことがある。些細な知識かもしれないが、円滑なコミュニケーションの為には意外と重要だったりする。
統計については、図表を読み取るという点では専門的に役立っているかとは思う。
特に男女関係なく戦い抜いて行かなければならない様な大きな組織社会の中で、問題解決に取り組む時、女性的視点で幅広く物事を客観的に捉える事が出来ていると思う。
入学時は社会学に関心があり社会学を専攻したが、広く国際社会学科の授業を履修したことで、就職先で国際情勢等の知識が活かされていると感じます。

<p>普段から様々なことにアンテナを張っておくことで、何気ない会話などで相手との共通点を見つけやすくなっている気がします。</p>
<p>幅広い知識と教養は、人間関係を構築するさまざまな場面で活かされている。 多様性を受け入れ、相手の育った環境や文化を知ることによって円滑なコミュニケーションがとれている。</p>
<p>幅広い分野の授業を受けられたので実生活の中でも関心の幅が広がったと思います。</p>
<p>物事に対して多角的な視点で捉えることができている。</p>
<p>物事を多方面から考えることができる。</p>
<p>文系だが大学の講義で学んだ理系の知識を仕事上思い出すことがある。</p>
<p>偏った視点から物事を見るのではなく、広く捉えようとする姿勢を持っていたので、「この分野のこの知識」というよりは、「どうやって物事を捉えるか」というような考え方や姿勢を身に付けられて、それが活かせていると思います。</p>
<p>問題解決に向けて多角的な視野を取り入れ、柔軟な考え方ができている</p>
<p>様々な状況の中でも、物事を多面的に捉え、また本質を見極めていく力の基盤を作れました。 教諭として、専門教科はもちろん、その他学ぶことに関しての礎を築くことができました。</p>
<p>様々な物事に興味を持つようになり、知識を活かしたいという気持ちを常に持つようになった。</p>
<p>様々な分野の物事を理解するのに生かされている。</p>
<p>「専門性が身に付いたか」と言われると、私自身は身に付けることはできませんでした。しかし、リベラル・アーツ教育で様々な分野の講義を受けることができ、視野を広げることができたと思っています。また、学ぶことの楽しさを知ることができたのは東女の教育のおかげです。社会人になった今も、『常に新しいことを学び続ける姿勢』を忘れずに、個人的に学校に通い、学び続けることをしています。</p>

4. 本学で身につけたスキルについて

「本学での卒業までの学びを通して身につけた知識・能力・スキルのうち、特に社会で役立っているものがあれば教えてください。」の設問に対する自由記述回答を抜粋し、掲載する。

キャリアイングリッシュコースで学んだ英語能力
キャリアイングリッシュ課程で、英語の発話の機会を多く得ました。その経験は英語が必要になった場面での行動力に繋がっています。
キャリアイングリッシュ課程で情報源の確認やクリティカルシンキングなどを学び、日常生活における物事への考え方、捉え方のベースとなりました。
キリスト教の講義が一番役立っている。始めのうちはなぜ無宗教の自分がキリスト教について学ばなければならないのかと思っていたが、海外の人たちと関わる中で、彼らの宗教観を理解しているのとならないのでは、大きな違いがあるというふうに感じる。世界のニュースをより深く理解するためにも必要な講義であると思う。
ケンブリッジ教養講座での学び、統計学
ジェンダー論
ゼミで学んだ、数字を読み解く統計知識と、ゼミでのディベートによる発言力+論理的思考力
フェミニズムの知識。当時はなんじゃこりゃと思っていましたが、社会で役職につく中でガラスの天井があることを思い知らされたので。
プログラミング
プログラミングの授業で学んだC言語や java そのものを業務で使うことはないが、基礎を学んだことで他の言語にも応用が効きすぐに覚えることができた。
プログラミング能力
もっと基礎的な Excel の関数知識やパワポ操作について学んでおけばよいと思いました。（特にマーケティングの仕事をしているため）
ユニバーサルデザインの考え方。職種・業界が特殊だからかもしれませんが、仕事に活かしました。
ライブイベントで環境が変化しても仕事を続けるキャリアプランの形成していこうと考え方
英語
英語 多様な視点で考えようとする力
英語で相手に簡潔に伝える事
英語と IT スキル
英語学習
英語力
英語力 海外から電話が来た時の対応、英文メールの読解、展示会での接客
英語力、プレゼンテーション能力、文章作成力（Writing の授業および卒業論文執筆で得たスキル）、ジャーナリズムの知識（Journalistic English の授業で得た知識）
英文エッセイを沢山書きましたが、社会人になってメールを作成するとき、文章構造を学んでい

たのがとても役に立ちました。
外国出身者に接する機会が続いた時期があり、その時には教養科目で英語（とくに英会話）を学んだことが役に立ちました。
言語科学科での授業は比較的役に立っていると思います。私の仕事柄、言葉を意識して使うことが多いので、先生方から学んだことは大変参考になっています。
語学、英語でのプレゼンテーション
私は学生時代に臨床心理学を学びました。また、心理学を役に立てようと参加したボランティア活動の中でさまざまな立場の方と接しました。営業の仕事でも、毎日さまざまな人と接するので、相手の気持ち、欲していることを汲み取ること、耳を傾ける姿勢に生きているなど感じます。
社会心理学・民俗学
社会福祉やジェンダーなどの多様な考え方。選択肢の拡大による不自由などの社会学的な考え方。
女性としてどう生きるのかをとっても考えた大学生活でした。また、AI技術のもとになっているアルゴリズムなどは、数学の知識が使われているので今の仕事を理解するうえで、非常に役立っている。全ての授業のエッセンスが、役立っていると考えます。
女性学の講義を受けたことがあるが、そこで性別によって受ける社会的な圧力があることを学んだ記憶がある。その講義を受けて以来自分が社会人になった時にも、自分が性別によって他人に無意識的に差別や抑圧をしていないかを考え、注意しながら会話することがあった。
心理学の知識、エビデンスに基づいた説明力
専攻で得た文学の知識
専門として学んだわけではないが、英語力やIT知識については役立っています。大学時代にもっと関連する講義を取って勉強していれば良かったという気持ちがかかなりあります。
全体として基礎的な力をついたと思います。
多分野の基礎知識を持てたことでいろんな分野に興味を持つことができ、対話ができるようになった。
第二外国語の知識が外国語を母語とする方とコミュニケーションを取る上で役立つ
統計(n=3)
統計学
統計学、ITスキル
統計学の知識は現在のマーケティングの仕事の中でも役立っています。またゼミで情報収集・課題の整理をした経験は仕事でも活かしていると思います。
日本語教員養成課程で、多様な人々と触れ、多様な捉え方や考え方があることを学び、多様性について常に意識するようになった。
日本語教員養成課程で学んだことが、現在の職場で外国人のお客さまと接する時に大変役に立っています。
認知心理学を専攻しており、人の記憶に残ることや印象に残る環境など学んだことを念頭におい

て役立てている
クリティカルシンキング
コミュニケーションスキル、ディスカッションスキル、ロジカルシンキング
コミュニケーション能力 人間関係構築力
コミュニケーション能力 多角的に物事を捉える力
コミュニケーション能力 発信能力
コミュニケーション能力 文章を書く力 物事を判断する力
コミュニケーション能力、主体的に学ぶ姿勢、共学にはない伸び伸び発言ができ、学べる環境が整っていると思う
コミュニケーション能力、心理学的アプローチ、話を聞く・引き出す力
コミュニケーション力
たくさんあります。多様性を認めて自らの生き方を考え行動する力や、物事を多角的に見る柔軟性、これらは全て大学生活で得られた力です。
テーマに沿って調べていく力。 調べたことを考察し、まとめていく力。
メディアリテラシー 積極的に情報収集する姿勢
ものごとをやりきる力(為せば成る)、自分の問題とその改善を常に考える思考が役に立っています。
異なる意見、違う視点を持った人と出会った時、きちんと受け入れ共感する力、認める力、客観的に捉える力が養われたのは社会学で学んだ大切なことの一つである。
一つの課題に対して多角的な面から考え、柔軟に対応できること。
英米文学科だったことに加え、キャリア・イングリッシュ課程も履修できたことで、英語で議論する授業が多く、多角的に物事を捉え、それを自身の意見として発言する積極性が身につき、現在もなお役立っている。
臆せずに行動を起こしてみることは、学生時代についた癖のように思います。 新しい企画の提案、新しい人へのアポイント、プライベートでも会ってみたい業界の人に会いに行くなど、積極的に未知の世界に足を踏み入れています。
仮説を立てる/検証する能力
何事も自ら調べて行動する事。
課題を見つける力 調べる力
疑問に思ったことを納得のいくまで調べ、考え、意見を発信する力
議論する力、協調性、
教職課程を通じ、人に伝える教えるスキルを身に付けられたことで、プレゼンや研修会等で分かりやすい伝え方ができるようになった。
言語学、文章力、論理的思考、多角的視点
困難なことでも、前向きに乗り越えていく力。 色々な人と携わりあいながら、より良いものを築いていく力。人を赦し受け入れる力

史学科において、身に付いたと思われるのは、情報を収集し理解したのち自身の意見を述べるという行動が自然とできるようになったこと。我慢強く課題に取り組む姿勢。
指導者の方などと相談する力を身につけられたことは、今の職場でも活かせていると思います。
資料の分析力や課題に取り組む姿勢が役に立っていると感じています
資料を読み解く力、膨大な情報を簡潔にまとめる力
字幕を楽しんで観ることが出来る
自ら考える力が身についた。大学では、選択授業やゼミ、キャリアイングリッシュ課程など自分で選択する機会がたくさんあったため、自分がどうなりたいかどんなことがしたいかを考えて行動するようになった。社会に出てからも自ら考えて行動することを心がけることで、自分が納得した上で前に進むことができている。
自己管理をする力。在学中、単位取得のために課題などのスケジュール管理や、毎回休まずに授業に出席していたので、自己を律し、先の予定を見通す力がとてもついたと感じている。
自分でしっかりと考え、行動しようとする姿勢。 責任感を持って取り組もうとする姿勢。 良い意味で真面目。
自分で学ぶ教科を選ぶことにより、時間の使い方や補いたい知識を得ることについて学べた。
自分で選んで学びとる姿勢 女しかないからこそ自主的に自ら問題解決、議論をのびのびとして行く姿勢
自分の意見を主張する上で、エビデンスとなる情報の取捨選択ができるようになったことで、社内外での協議やプレゼンに役立っている。
自分の考えや意見をしっかりと持つこと
自分の考えを論理的にアウトプットする能力。 伝えたいことを相手にどう理解してもらおうか(理解させるか) を考える力。
自分の専門分野だけでなく、さまざまな物事に興味関心を持つということが、今の仕事でも生かされている。お客様と話すときの話題はカテゴリーに拘らず日頃から調べるようにしている。
自立性、人を巻き込み物事を解決する力
社会に役立っているものは思いつかないが、史料・資料探しのスキルは、自分の興味のある分野の本を上手く探し当て知識を深められるので、今後も人生を豊かにするためには大いに役立つと思う。
社会学で学んだ多角的なものの見方は、社会人になって問題解決等に役立っていると思います。
社交性。
主観的に考えた結果か、客観的に考えた結果かを自身で自覚した上で物事を捉えることができるようになりました。在学中に統計や心理学を学べたことは有益だったと思います。
主体的に学ぶ力。
授業で身に付けた知識もたくさんあるが、特に少人数での授業や周りの学びに対する意識が高い学生との学校生活を通して、主体性や最後まで諦めずにやり遂げる力、コミュニケーション能力が身に付き、社会の中でとても役立っている。

周りの人に協力をお願いするスキル
周囲との協調性。協力し合う中で謙虚に教を乞う姿勢・感謝を素直に伝える力？ ルールに則っての行動が前提で、その上で臨機応変に対応する力。 行動心理学？行動科学？の講義内容がふとしたときに役に立つことがある。
少人数での授業が多かったため、何事に対しても最後までやり遂げる力、諦めない力が身に付き、今でも役に立っている。
情報の取捨選択
情報を批判的に考える力
情報を分析して考える力がついた。
情報収集力
情報収集力・データ読解力・プレゼン用資料作成
心理学的な視点。 パソコンスキル。 相手に伝わるように文章をまとめるら、
人、物事に対し片寄った見方をしない。ある意見を聞いたら反対の意見も聞くようにするなどバランスをとるようにしている。
人との関わり方、ものの見方
人間関係を作るコミュニケーション能力
世の中の問題について多角的に捉える力が身についた。
卒業論文をグループ作成したため、グループ間の調整能力は身についたと思う。
他者と協力し、物事を成し遂げること。
多角的な思考、偏らない思考、探求心、あきらめない心
多角的にみる力だと思います。また、ジェンダー論も学びになりました。そして、湊学長との出会いも大きかったと思います。あたたかい母性で包んでくれる大学で、いつでも安心して過ごせました。いまでも心の拠り所です。
多角的に物事を考えること 自分と異なる意見をもつ他者の意見にも耳を傾けること 思いやりを持つこと
多面的な視点から物事をみる・考える力
多様な考え方があることへの理解
大学で様々な授業でスモールグループ活動をしたおかげで、ソーシャルスキルや異なるバックグラウンドの人と柔軟に仕事をするスキルを身につけられました。
第三者的な物の考え方や視点が広がり、社会人として人間関係を上手に築く事ができた
哲学科における多角的に物事を考える力
当時ディスカッション等の場面で自分の意見を述べるのがとても苦手だったが、何度も繰り返していたので仕事でも自分の意見を言えるように心がけるようになった。
日本の「単一の民族」という思考は社会に通用しなくなっているものの、依然その思考が強い。多角的に物事をとらえる必要のあるなかで、東女の学びは、一歩引いて、肯定的、批判的に考える癖をつけることができたと思う。

能動的に行動すること。
配慮のある言葉遣いで、適切なコミュニケーションを取ることができる能力
批判的に物事を考える。 他人の意見を聞き入れる姿勢は大切だが、すべてに迎合せず自分の見解ははっきりと述べる。
幅広い知識を学んだことによって多方面から物事を考えられるスキルは役立ったと感じます。
物事を多角的に見る力、 探究心 他を認め共存する力
物事を論理的に考える力。
文化人類学ゼミで学んだ、インタビュースキル、物事を様々な視点で見極める力 社会調査士の資格取得で得たマーケティングスキル
様々な資料や情報を収集し、物事を考え理解する力。 周りの人と協力し合い、意見を交わしながらより良い方向へ導く力。
様々な情報から本質を見抜くというスキル。
様々な情報に惑わされない 解決するまで調べること
様々な人の立場・様々な視点に立って物事を考える力は、社会生活を柔軟に送る上で特に役立っていると思います。
様々な分野の人に話を聞く傾聴力 (色々な学部と交流できていたので)
論文を執筆する際に身に付けた考察力や論理的に物事を捉え、整理する力。
論理的な思考。なんとなく、では通用しないことがほとんどなので、根拠に基づいた考えができるようになったことは社会で役立っていると思う。
論理的に考える力、日本語による文章作成
論理的に考える力。議論をする力。英会話サークル QGS に所属し、日本の社会問題について英語で議論する活動をしていました。そこで身につけた、論理的思考と、議論をする力は現在でも大変役立っています。相手の意見に反対する討論ではなく、相手の意見に反対するだけでなく「じゃあどうしたほうが良いか」まで、建設的な議論をできる力が今後の日本社会でも必要になってくるのかなと考えています。
論理的思考力、クリティカルシンキング、文章構成能力、英語力
1番はコミュニケーション力。他には、ユニバーサルデザインや広告論、統計が役に立っている。
ITスキル(Excel、パワポ)、コミュニケーションスキル
spss等を用いた統計学や考え方
キャリアイングリッシュ課程で身につけたプレゼンテーション能力は、仕事上役に立っています。
キャリアイングリッシュ課程や日本語教員養成課程で学んだプレゼンテーション能力
ゼミや期末試験で培った文章構成能力、長文の文章作成 他専攻のプログラミング言語の授業を履修したこと
とにかくたくさんレポートを書いたこと。人に論理的に伝えるための、起承転結の基本的な文章構造が、叩き込まれました。
パソコンスキル 対人コミュニケーション

パソコン授業での情報処理力、教職課程で培った他人を指導する力
プレゼンテーション、情報処理、語学
プレゼンテーションスキル ディスカッションスキル
プレゼンテーションスキル。
プレゼンテーションの手法を学ぶ授業があり(たしか専攻の授業ではなく一般教養の情報科目か何かの授業だったと思いますが)、そこでプレゼン方法だけでなく要点をまとめた的確に発信する知識を得ることができ、役立っていると感じます。
プレゼンテーション能力、メディアリテラシー
レポート作成等については、社会で役立つ一方もう少し細かく指導があるとより良いと感じた。またキャリアイングリッシュ課程や短期語学留学等の学びの場を通じて英語力は身につけられ現在仕事で活用する基礎となっている。
英文作成能力
言語情報処理というプログラミングの単位。パソコンを使うので、プログラミングはできた方がいい。あとは、卒業論文の執筆により構成や説明の仕方を学び、社内のメール文章はもちろんテキスト作成に役立ったと思う。最近卒業論文を執筆せずに卒業できる大学があるが、私は卒業論文を執筆して良かったと思っている。
情報処理科目として受講していた統計など。Excel などは社会人になっても使う機会が結構あるため役立っていると思います。
大学で、情報を整理して、レポート作成していたことが仕事で説明文書などを作成するときに活かされていると思います。
統計処理。データを数値化してまとめる方法が身につけているので役立っています。 また、ジェンダーについても、解決することはできないにしても、ステレオタイプの視点を批判的に見ることができています。
日本語の美しさやプレゼンテーション能力についてお褒めの言葉をいただくことがあり、社会人生活の中で役に立っていると感じます。
文献等を分析する力
文章作成
文章力
問題解決能力。

5. 卒業後の状況

卒業後の進路・就職先などについて尋ねた結果を図8～図13に示す。卒業後の進路は、約9割が就職し、そのうち3割近くが転職もしくは退職を選じた。その理由は、一番が「職場とのミスマッチ」、次に「キャリア・アップのため」だった。現在の就業形態については、約5割が正社員（総合職）で、次に正社員（一般職）、3番目が正社員（専門職）だった。

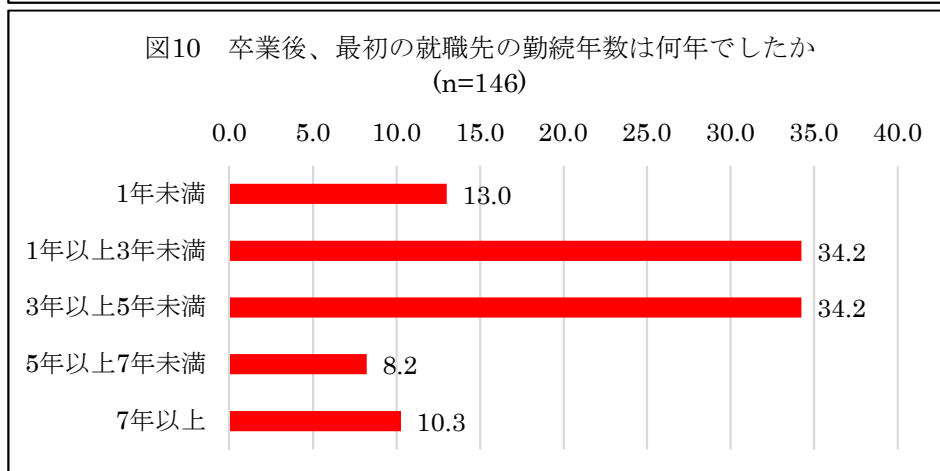
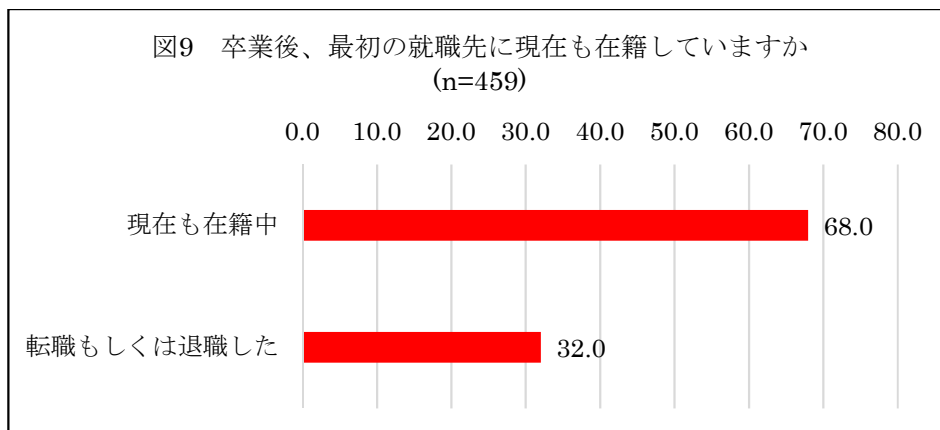
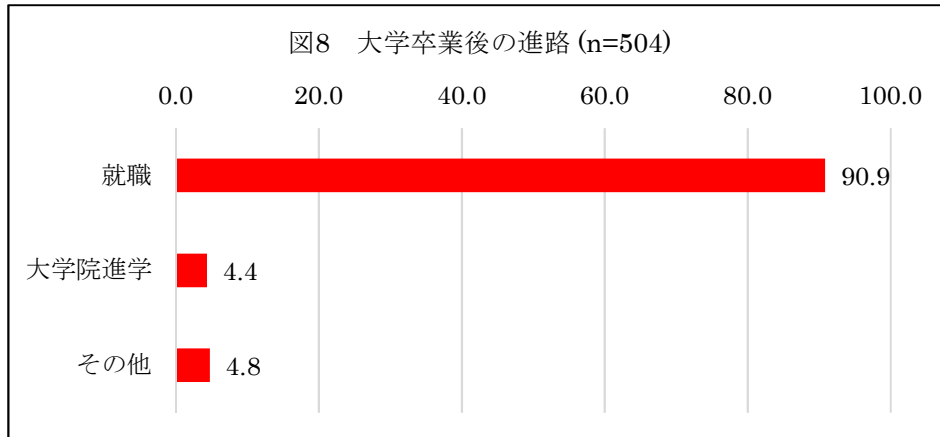


図11 就職先を転職・退職した理由 (n=147) 複数回答可

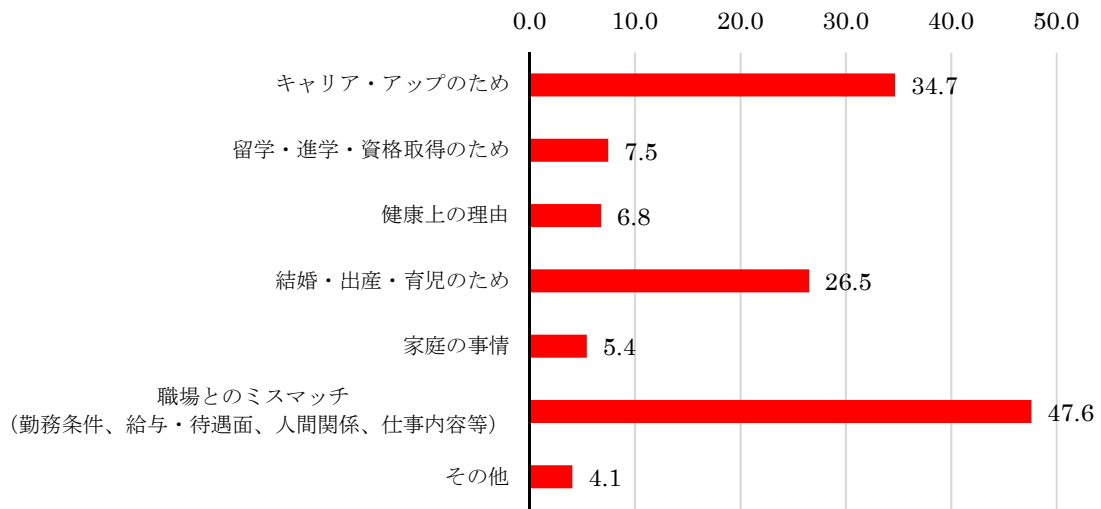


図12 現在、あなたは仕事に就いていますか (n=192)

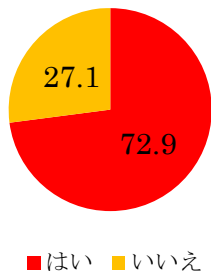
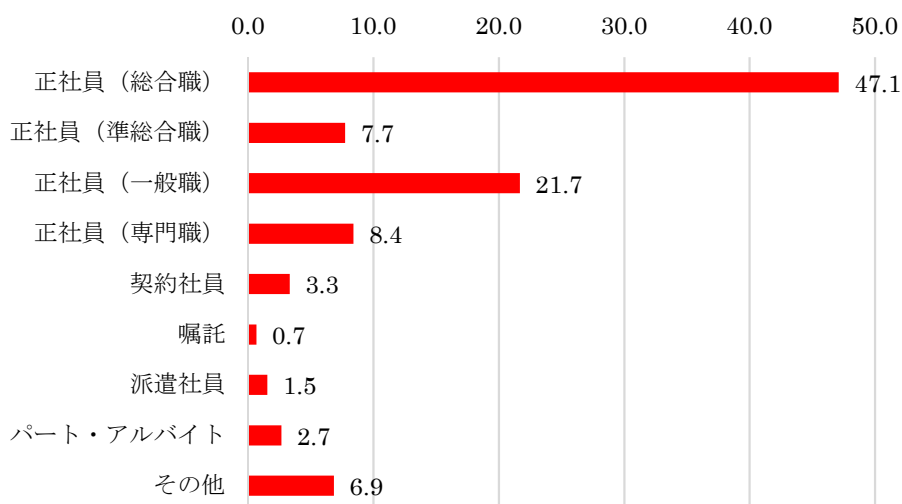


図13 現在の就業形態に当てはまるもの(n=452)



以上